

ISO/TC61(プラスチック)/SC12 (熱硬化性材料)、分野の最近の動向

1. ISO/TC61/SC12の構成

ISO/TC61/SC12は、熱硬化性材料関係の規格の制定・改正等を担当する。現在、88の規格を有する。

幹事国は、日本で、日本プラスチック工業連盟が国際幹事を2004年より受諾している。議長は、日本（2016年より山崎聡氏（三井化学株式会社））が受諾している。2020年のメンバーは、Pメンバー（投票権有す）が、15カ国、また Oメンバー(オブザーバ)は、12カ国であった。

表1のように三つのWG（作業グループ）が活動している。

WGのコンビナは、WG2は正岡和隆氏、WG5は正岡和隆氏、WG6は 神原良行氏（2020年より新任）が務めている。

表1 TC61/SC12のWG

WG	コンビナ	タイトル
WG 2	日本	フェノール樹脂
WG 5	日本	エポキシ樹脂、不飽和ポリエステル樹脂
WG 6	日本	ウレタン原料

2021年は、対面でのTC61国際会議が中止となったため、SC12は、Virtualで会議を開催した。(2021年9月8日、9日、10日)

2. ISO/TC61/SC12の審議事項

(1) WG2(フェノール樹脂)(9月8日:WG5と共同開催)

コンビナ：正岡和隆氏

a) 2021年Systematic Reviewは、すべて確認となった。

(2) WG5(エポキシ樹脂、不飽和ポリエステル樹脂) (9月8日:WG2と共同開催)

コンビナ：正岡和隆氏

a) 日本から提案の、「Thermosetting resin and UV curable resin – Determination of shrinkage rate by continuous measurement method」については、IS発行となった。

b) 2021年Systematic Reviewは、すべて確認となった。

(3) WG6 (ポリウレタン原料) (9月9日開催) コンビナ：神原良行氏

a) 日本から提案の、「非水銀法ポリオールの不飽和度測定」については、事前検証試験を継続している。WG会議は、Virtualで実施し、各国Expertと議論を行った。

b) 2021年Systematic Reviewは、すべて確認となった。

(以上)